

# ハンディトランシーバー用ヘルメットホーン HP - 1500

高速時の安全性・操作性を追求した、本格派バイクモバイル用マイクロホンです。

## 特長

新開発フローティングマイクロホン(特許申請中)を搭載

新開発フローティングマイクロホンの採用により高速走行による風切音やフレキシブルパイプより伝わる振動を抑え明瞭度のアップをはかりました。

新開発薄型スピーカーの採用

新開発薄型スピーカーの採用より長時間のツーリングにおいても疲れを感じさせず高速走行時でも受信の明瞭度は抜群です。

ヘルメットへの取付けは、ワンタッチクリップ方式を採用

スピーカー付マイクロホンは、フルフェイス型およびジェット型ヘルメットに簡単に取付可能です。

防滴構造の一体型スイッチボックスを採用

交信に必要な送受信、スピーカー音量、マイクゲインの切換スイッチ類は集中操作方式のためスイッチボックスをバックミラーに共締めすることにより簡単に取付けができます。

## セット内容

- スピーカー付マイクロホン(クリップ方式、マイク風防付)..... 1個
- 一体型スイッチボックス..... 1個  
(トランシーバーとスイッチボックス間のコードの長さは、約1.7mです)
- 付属品 結束ベルト..... 6本
- ゴム板(ヘルメット保護用)..... 2枚
- マジックテープ..... 1枚
- 保証書付取扱説明台紙(この台紙)..... 1枚

## 各部の仕様

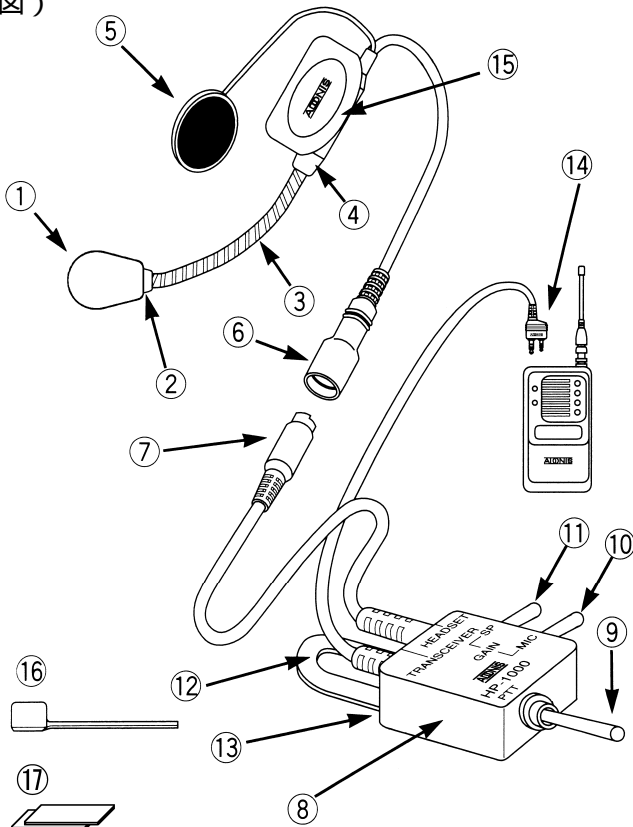
- 高性能小型無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン..... 1個
- 薄型スピーカー(直径40mm 0.6W(MAX) 8Ω)..... 1個
- 一体型スイッチボックス..... 20(H)×40(W)×30(D)mm
- 重量..... 約220g

本製品が使用できるトランシーバーにつきましては、販売店または弊社にお問い合わせください。

## 各部の名称

- 取り付けを始める前に、付属品と各部の名称をご確認ください。

(1図)



- 風防
- マイクロホン
- フレキシブルパイプ
- クリップ部
- 薄型スピーカー
- マイク/スピーカー中継ジャック
- マイク/スピーカー中継プラグ
- スイッチボックス
- 送受信切換(PTT)スイッチ
- マイクゲイン切換スイッチ
- スピーカー音量切換スイッチ
- 取付金具
- 取付ネジ
- トランシーバー接続プラグ
- クリップカバー

- 付属品
- 結束ベルト 6本
- ゴム板 2枚
- マジックテープ 1枚

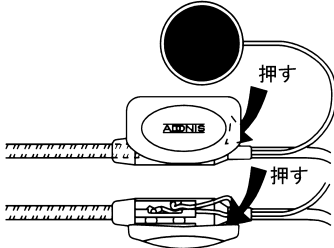
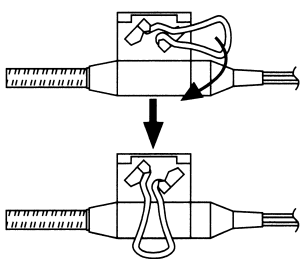
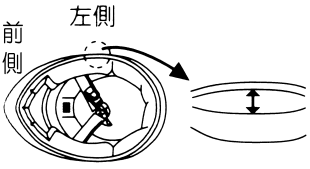
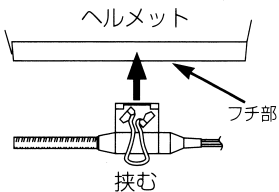
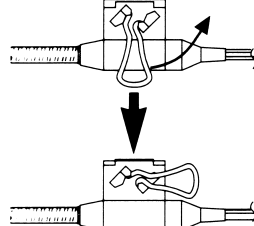
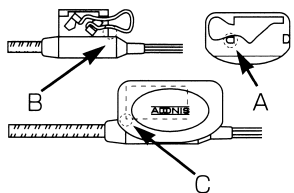
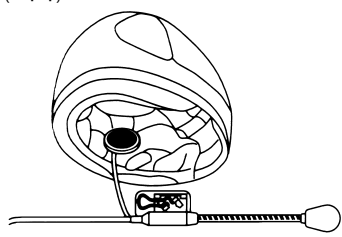
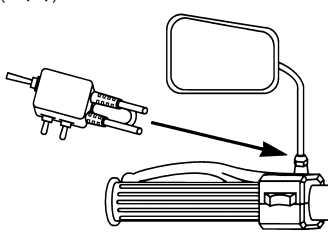
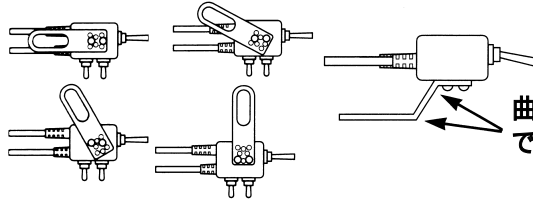
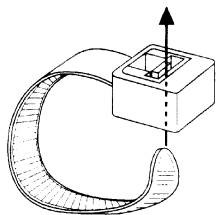
(無線機はセットに含まれません)

## ゴム板の使用方法

「フチカバー」が付いていないヘルメットへクリップ部を取り付けるとヘルメットにキズがついたり外れたりする場合があります。

クリップ部を取り付ける位置に、付属の ゴム板をヘルメットの外側と内側へ一枚ずつ、剥離紙を剥がして貼り付けてください。その後 ゴム板の上へ クリップ部を取り付けてください。

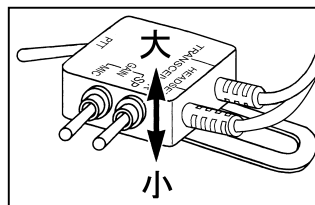
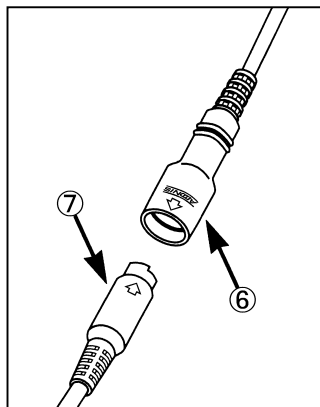
## 取付方法

<p>(2図)</p>  <p>クリップ部に付いている クリップカバーを 図のように裏側から押して外してください。</p>	<p>(3図)</p>  <p>閉じているクリップレバーを開けてください。</p>	<p>(4図)</p>  <p>ヘルメット左側下部のフチとインナーパッドの間を少し広げます。</p>
<p>(5図)</p>  <p>クリップレバーを指で挟みクリップを広げ、マイクロホンが口元に来る位置にヘルメット左側下部のフチをはさむように固定します。</p>	<p>(6図)</p>  <p>クリップがヘルメットのフチに固定されていることを確認し、クリップレバーを閉じます。</p>	<p>(7図)</p>  <p>クリップカバーのAのツメをクリップのB部に引っ掛け、クリップカバーのC部を曲げながら強く押し、取り付けてください。</p>
<p>(8図)</p>  <p>スピーカーをヘルメット内側の左耳位置付近に取り付けます。取付位置に付属のマジックテープの剥離紙を剥がし貼り付けた上で取り付けてください。</p>	<p>(9図)</p>  <p>バイクの左側バックミラーの根元に 取付金具を共締めし スイッチボックスを取り付けます。</p>	
<p>(10図)</p>  <p>20種類の取り付け方があります。</p> <p>スイッチボックスに付いている 取付金具は、曲げることにより色々な角度に固定できます。ハンドルから手を離さずに 送受信切換(P T T)スイッチ等を操作できるように工夫して取り付けてください。</p>	<p>(11図)</p>  <p>結束ベルトであまっているコード類を邪魔にならないようにバイクに固定してください。(結束ベルトをコード類に巻きつけてから先端を角穴に入れ引き出して固定してください。)</p>	

## 使用方法

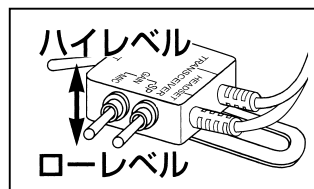
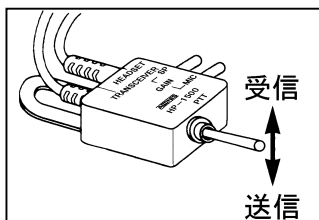
### 1) 運用準備

- マイク/スピーカー中継ジャックと マイク/スピーカー中継プラグの矢印が同じ位置で向き合うようにしっかりと差込んで接続してください。
- スwitchボックスの 送受信切換 (PTT) スwitchが上側 (受信状態) になっていることを確認し、 トランシーバー接続プラグをご使用になるハンディトランシーバーに接続してください。
- スwitchボックスの スピーカー音量切換スswitchを下側にした状態で最適の音量になるように接続したハンディトランシーバーの音量ボリュームを調整してください。 スピーカー音量切換スswitchを上側にすると 薄型スピーカーの音量が大きくなります。使用状況に応じて切り換えてご使用ください。



### 2) 運用方法

- スwitchボックスの 送受信切換 (PTT) スwitchは、上側が受信状態です。送信する場合は、 送受信切換 (PTT) スwitchを下側に切り換えてください。
- スwitchボックスの マイクゲイン切換スswitchは、上側にするとハイレベル (高い) になり下側にするとローレベル (低い) になります。通常はローレベルで交信するようにレベルの設定を行い、運用状況により使い分けてください。



SEC 株式会社エス・イー・シー

大阪営業所 〒576-0017 大阪府交野市星田北1丁目38番15号

TEL (072)893-3033 (代表) FAX(072)891-2240

ホームページ

<http://www.adonis.ne.jp/>